

## ワシントンがモスクワに「米のテロ基地だけは助けて！」

【訳者注】これは、2/28「アンカラの政権交代？」や、2/21「劇的なエスカレーションは間近か？」などに説明されている、苦境に陥ったアメリカの姑息な手口を、軍事関係のソースからの引用で跡付けるものである。これはあたかも、将棋の名人戦で王手をかけられた方が、「待った」を要求するようなものである。ロシアはこの無様を認めてやっとならしい。いずれにせよ、“テロとの戦い”を宣言したアメリカ（とその同盟国）が、テロを支援することで、実質的にテロリストそのものであることがよくわかる。問題はメディアで、彼らがこれを隠したり曲げたりすれば、戦争に協力することになる。

By Prof. Michel Chossudovsky  
Global Research, February 21, 2016



ワシントンはモスクワに対して、アメリカの特別部隊が配備されている北シリア領域を、爆撃しないようお願いした。これらの領域は、アメリカとその同盟国に支援されている、いわゆる“穏健な反体制”テロリストの支配下にある。

問題の領域は、北シリアのポケット地域に属し、そこでは ISIS やアルヌスラを含む、米-NATO に支援されているさまざまなジハードイスト集団が、シリア政府軍（SAA）やその同盟軍と戦っている。これらのテロリスト拠点は、アメリカ主導の同盟国やトルコによって、保護されている——

ペンタゴンはロシアに対し、アメリカの特殊作戦部隊が、地方の戦闘家 [すなわち、イスラム国を含むテロリスト] を、イスラム国集団と戦わせるために訓練している [実は、反体制反乱軍は ISIS の同盟軍、ISIS はアメリカに支援され、その内部に特殊部隊がある] 北シリア地帯には近づかないようお願いした (asked)、と木曜日、軍高官は話し

た。これを認めたことは重要な意味をもつ。なぜなら、ペンタゴンは、我々はモスクワと協力しているのではない、両軍は戦争で荒廃したシリアで、別々の空爆作戦を行っているからだ、と繰り返し強調してきたからである。… ([Al Monitor, AFP Report, February 18, 2016](#))

<http://www.al-monitor.com/pulse/contents/afp/2016/02/syria-conflict-us-military-russia.html>

## Pentagon asked Russia to avoid Syrian areas with US commandos

The Pentagon has asked Russia to stay away from parts of northern Syria where US special operations troops are training local fighters to combat the Islamic State group, military officials said Thursday.

顧問団は、アメリカ軍がシリアに入っていることを認めている。ワシントンは、アメリカの特殊部隊と CIA が、“穏健な反体制派”組織の内部で活動していることを確認している。

Since December Pentagon officials have been passing on to Russian defense officials where the U.S. troops are “with the hopes that Russian aircraft will steer clear of that area” and not attack U.S. troops, according to a report by Andrew Tilghman in the authoritative *Military Times*.

(12月以来、ペンタゴンの高官は、ロシア国防省に対し、「ロシア空軍機がその領域を迂回して、米軍部隊への攻撃を抑えることを期待して」アメリカ軍の居場所を知らせた、とアンドルー・ティルグマンは権威あるミリタリー・タイムズで報告した。)

ワシントンの目的は2つある——ひとつは、“公的には”アメリカ人の死傷者を出したくないとともに、ロシアとの直接軍事衝突を避けたいということである。それが公的な顧問団勧告である。これが主たる目的ではない。

もう一つは、ロシアとの直接衝突（とアメリカ側の死傷者）を避けるという口実を用いて、ロシアの空爆作戦を抑止するためである。ワシントンの主たる目的は、アメリカの援助するテロリストの、残った北シリアの拠点を、ISISのそれも含めて、ロシアの空爆から守ることである。

顧問勧告は、アメリカ軍に援助されている“穏健なテロリスト”を爆撃しないように、ロシアにお願いするのに等しい。これは実は、昨年9月末、ロシアのイスラム国への爆撃作戦が始まったとき、ワシントンの取った最初の立場だった。オバマ政府は、プーチンが米特殊部

隊よりも、シリアのアメリカ支援の部隊（つまり穏健テロリスト）を“故意に標的にしている”と言って非難した。

ワシントンの（戦略的観点からの）懸念は、彼ら自身の軍隊よりも、テロリストの拠点を守ることである。

実際、2015年10月半ばに危機に瀕していたのは、モスクワが“間違っ”テロリストの範疇に入れた、“良い者たち”、つまり CIA の訓練した反乱軍を、ロシアが殺していたことだった。

米高官の Fox News とのインタビューによれば――

“プーチンは故意に我々の軍隊を標的にしている。我々の仲間は命がけで戦っている”

Moscow is "deliberately targeting" U.S.-backed forces in Syria as part of a military campaign that has killed up to 150 CIA-trained rebels, a U.S. official told Fox News.

The claim comes as the U.S. and Russian militaries try to reach an agreement about flight safety in the skies over Syria. Officials from both countries are holding their third video conference on the issue Wednesday, as U.S.-led coalition and Russian aircraft look to avoid collisions as they launch airstrikes into Syria.

But even as they try to "de-conflict," evidence is mounting that Russia's air campaign is targeting more than just the Islamic State.

"Putin is deliberately targeting our forces," a U.S. official, who is disappointed in the U.S. response to Russia, told Fox News.

ソース : October 14, 2015, <http://www.foxnews.com/>

アメリカは現在、公然と、シリアの主権を無視して地上軍を侵入させ、いろいろなアルカーイダ系の“反体制” 集団や ISIS を使って戦わせている。

この特殊部隊は、米 - NATO と恒久的に結びついている。

ペンタゴンの顧問団は、ロシアに対し、北シリアの“広い領域” の米特殊部隊を、標的にし

ないように要請している。これは要するに、米主導の同盟国が支援するテロリストへの、ロシア空爆を抑えてもらうことである――

中東の米空軍指揮官チャールズ・ブラウン中將の話によると、米高官がモスクワに対し、“我々の地上軍の安全のレベルを維持するために” [まだテロリストの支配下にある] シリア北部の“広い領域”を避けてほしいと要請した。

ペンタゴン報道官ピーター・クックは、ロシアはその要請を尊重していると言い、ペンタゴンは、米軍の居場所については、およそのことを言っただけで、正確な場所を教えたのではないと強調した。

[ロシア軍は、米軍がどこで活動しているか、つまり、政府軍と戦っているいろんな“反体制”グループの居場所を承知している。]

ペンタゴンは昨年、50の特殊作戦部隊を送って、シリアの反IS戦士たちと協力させるのだと言ったが、その後、高官たちは、彼らがどこにいるのかや、その進展について、ほとんど何も言っていない。

[米地上軍の数はそれより多い。このペンタゴンの数字は、私的な請負業者の雇った傭兵を含んでいない。]

アメリカは2014年8月以来、イラクとシリアで、IS集団に敵対する国際同盟軍を率いている。[これはウソである。アメリカと、トルコやサウジアラビアを含む、その同盟軍がイスラム国を保護していることは、十分に証明できる事実である。]

ロシアは9月にシリア紛争に介入し、バシヤール・アル・アサド大統領に敵対する反乱軍を空爆し始めた。ロシアは、IS集団や他の“テロリスト”を攻撃しているのだと言っている。

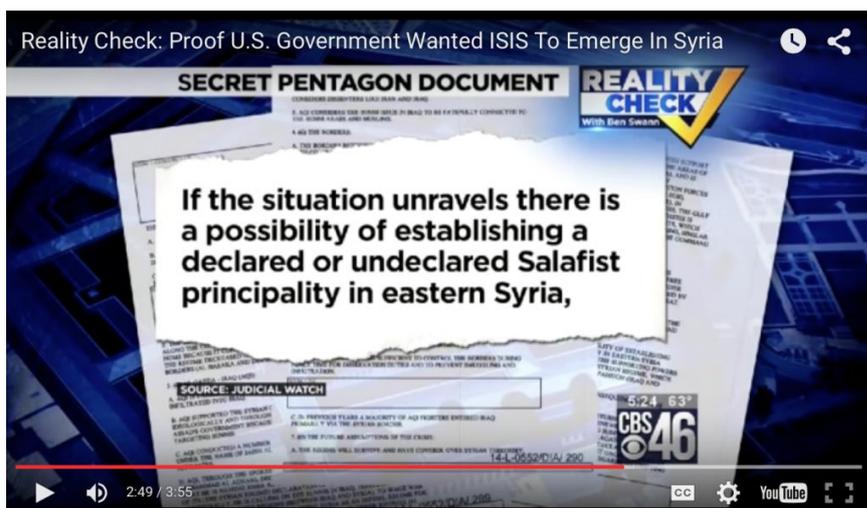
…ペンタゴンは、不幸な事態を防止するアウトラインの作成のために、ロシアの国防省との一連の“紛争防止”会談を行っている。(Al Monitor, AFP Report, 強調引用者)  
<http://www.al-monitor.com/pulse/contents/afp/2016/02/syria-conflict-us-military-russia.html>

1月半ばに、ロシアの空爆や、米-NATO援助によるテロリスト反政府軍の敗北に反応して、ペンタゴンが、“トルコの南国境の安全確保策の一部として”シリア内部に7000名に

及ぶ反乱軍を訓練する新しいプランを発表したことは、注目すべきである。トルコとの協調によるこのプランは、北シリアに、いわゆる安全地帯をつくり出すことになるであろう。

([WSJ](http://www.wsj.com/articles/pentagon-considers-plan-to-train-fighters-in-syria-1452646578)、January 15, 2016) <http://www.wsj.com/articles/pentagon-considers-plan-to-train-fighters-in-syria-1452646578>

秘密のペンタゴン文書によれば、その究極の目標は、北シリアに“イスラム国カリフ統治圏”(Salafist Principality) を創り出すことであつた。



Global Research は、シリアについての 1000 以上の記事を集めたアーカイブを公開した。これらの文書は、ワシントンが、イスラム国だけでなく、シリアでも、アルカーイダ系反政府集団を援助していたことを証明している。

<http://www.globalresearch.ca/indepthreport/syria-nato-s-next-war>